

ダウジング ペンデュラム講座 ～初 級～

講師：堤 裕司



日本ダウザー協会
The Japanese Society of Dowzers

目 次

はじめに	…P. 2
Lesson1 振り子の選び方	…P. 3
Lesson2 振り子の持ち方 シュブリュールの振り子 YES・NO の信号 振り子のチューニング	…P. 6
Lesson3 青い太陽	…P.10
Lesson4 質問の組み立て 先入観の対応 波動の消去	…P.11
Lesson5 チャートを使った求め方 ビタミンチャート ミネラルチャート プロテインチャート 職業インジケータ 特性チャート YES・NO・MAYBE チャート	…P.15
さいごに	…P.17

はじめに

ダウジングとは？

英語のスペルは Dowsing。辞書には、「水脈占い」や「占杖」などと示されています。古くは、棒状の杖を持って地下の水脈を探し出す占いの一種と考えられていたためです。現在では、「自分の潜在意識が考えていることを知るテクニックのひとつ」として、自分が知りたい情報を得たいきなどに利用されています。潜在意識には、途方もない力が蓄えられていることは、多くの心理学者が認めていることです。

ペンデュラムとは？

ダウジングで使用する振り子のことです。重りにひもや鎖をつけたものです。

☆本講座では、ペンデュラムを使用してダウジングを行うための基礎を学んでいきます。

講師

堤 裕司（つつみ ゆうじ）先生

1962年8月9日福岡県生まれ

1984年日本ダウザー協会設立

日本ダウザー協会会長

日本エネルギー医学協会理事

カリスマダウザーと言われる日本ダウジング界の第一人者

道具選びからダウジングの基本、質問の設定から導き出しかたまで、長く培った経験をもとに、わかりやすく解説します。

Lesson1 振り子の選び方

～素材の特徴や選ぶポイントについて学ぶ～

「使いやすい!」「好き!」と思うものを選ぶ

ダウジングで使われるペンデュラム=振り子は、「重り」と「それを吊るすもの」から構成されます。吊るすものは紐や鎖、重りは金属から樹脂まで様々な素材があります。

人によって使いやすい振り子、使いにくい振り子がありますが、「自分はこの振り子が好きだから使っている」と思えるものを使うことが一番重要です。

☆「好き」をテーマに、各素材の特徴を理解しながら選んでいきましょう。

素材と特徴

1. 吊るす部分の素材

鎖

- 商品として販売されるものは鎖のものが多い。
- 高級感がある。
- 汚れにくい。
- 金属と金属の輪の連鎖でできているため、振り子が揺れてきたときに、金属と金属が擦れるノイズのような感覚伝わってくるため、意識や注意が分断されやすい。
- チューニングポイントが作りにくい(結びにくい、固定しにくい。ビーズを取付ける時の手間がかかるとか)。

紐

- 鎖のように金属が擦れるノイズがないため意識に集中しやすい。
- チューニングポイントが作りやすい。
- 白いものなどは汚れやすい。

2. 重りの素材

木

- 加工性が良いため様々な形がある。
- 重さが出せないので大きめのものが多い。
- 桜や樫など様々な種類がある。絶滅危惧種のローズウッドのように将来手に入らなくなる可能性がある素材もある。
- 重さを出すため、中に特殊素材を詰めたものもある。

鉄

- 地球の磁気の影響を受けるため、基本的にダウジングには向かない。

金/銀/銅(メッキものも含む)

- 価格が高い。
- 敏感すぎるため、集中して調べたい情報だけではなく、他の情報も拾ってしまうため、結果的に間違いを引き起こす可能性が高い。
- 敏感なため、特定の目的の意味を求める用途には良いが、初心者には向かない。

真ちゅう

- 中立な金属であるため、可もなく不可もなく薦められる。
- 価格が安い。
- 加工性が高い。
- 重さがある。

ステンレス

- 錆びないため、長くきれいなまま使用できる。
- 磁化するものと磁化しないものがあり、磁化するステンレスは向かない。
- 硬いため加工性が低い。

樹脂 (プラスチック、ナイロン等)

- 加工性が高い。
- 軽い。
- 重さを出すため水銀などを入れているものがある。
- 特定の目的に使用するために、金属と鉱物など異素材を組み合わせ細工されるものもある。

石

- 価格や種類が様々ある。
- 振り子の先端は細く削るため、先端が欠けやすい。
- 波動やエネルギーを、石の特性として吸ってしまうため、まめな浄化が重要となる。

3. 色

～吊り下げ部分の色 (白・黒・緑から選ぶとよい) ～

白、黒

- 色そのものがないという意味で、集中の妨げにならない。

緑

- 虹の7色の真中の色が緑であることから、中立の色と言われる

重りの色

- 金や銀など金属の色や、木の地肌の色など「〇〇色」と特定されるような色を持つものは向かない ※特定の目的を持って使用する場合を除く

4. 種類と用途

半球(エネルのペンデュラム)

- ・ ペンデュラム・ヒーリング用。がんの治療等に用いられてきた。

カーソル付き(オーラスーパーセンサー)

- ・ チャクラやオーラを調べる。

12色

- ・ カラーヒーリング用。

霊芝ペンデュラム

- ・ 霊芝(サルノコシカケ)のエネルギーによって病気を癒すを目的に用いる。
- ・ 霊芝ほか、目的とするものを入れて使用するものもある。

5. 重さ

振り子の「重さ」はとても重要。「重い」と感じたら重すぎ、「軽い」と思ったら軽すぎる。持ったときの感覚が重要なので、重すぎず、軽すぎないものを選ぶ。

適切な重さの見分け方:

- ・ 5円玉を10枚程度用意する。
- ・ 5円玉を紐や糸に1枚通す。
- ・ 5円玉は1枚3.8グラム。1枚ずつ足して重さの感覚を養う。

重さの目安

- ・ 女性は5円玉2枚から3枚の間、男性は3から4枚ぐらいを丁度良いと感じる場合が多い。ただし個人差があるので、5円玉を使って自分が良いと思う重さや感覚をつかむと良い。
- ・ ネットで購入する場合は、重さを参考に選ぶと良い。

☆ 自分が「本当にこれが好き!」という振り子を選び、それを長く大事に扱って、どんどんダウジングの練習をしていきましょう!

Lesson2 振り子の持ち方

～シュブリュールの振り子/YES・NOの信号/振り子のチューニング～

1. 振り子の持ち方

- 利き手、または好きな手で持つ。
- 親指と人差し指で持ち、他3本の指は軽く握るぐらい(楽に持てる持ち方)。
- 横に持つ(縦に持つと振り子が動いてきたときに小指が引っかかるため)。
- 脇は自分のげんこつが縦に入る程度に自然にひらく。
- テーブルに肘をつかない。
- ダウジングのペンデュラムは、あくまでも筋肉反射が動かしているものなので、筋肉は固定しない。力を抜いて自由に動くようにしておく。

2. 持ち方の種類(以下の2種類がある)

ヨーロッパタイプ(紐の端を持つ)

アメリカンタイプ (チューニングポイント*で持つ)

チューニングポイントの求め方

- 振り子の重りを手前、ひもを向こうにしてテーブルに置く。
- 親指と人差し指でL字型を作り、その長さを測る(感覚で良い)。
- 親指の先をひもの付け根に当て人差し指の爪までの長さを「2番」とする。
- その半分の所を「1番」とする。
- 親指から人差し指までの倍の長さを「3番」とする。
- ビーズがついている場合はビーズを動かし、ない場合は結んで、1番、2番、3番のチューニングポイントを定める。



☆ 人により指の長さなどが違うので、チューニングした振り子は自分専用にしましょう!

各チューニングポイントの特徴

1 番…物質(物理的なもの、肉体上のもの等を調べるのに適する)

別名: エレクトリックポイント、電気の間、電場、フィジカルポイント

2 番…精神(精神、意識、感情、知性などを調べるのに適する)

別名: マグネティックポイント、磁場、メンタル

3 番…霊的(霊的なものを調べるのに適する)

別名: エレクトロ・マグネティックポイント、電磁場、スピリチャル

☆ 持つ位置によって調べる対象物を分けていきましょう!

3. ダウジングを始める前の確認練習

～シュブリュールの振り子 心で思った通りに振り子を動かす～

シュブリュールの振り子とは?

- ・ オーストリアの精神科医師シュブリュールが 1812 年に考案。
- ・ 振り子を正しく動かせるか否かで、神経や精神疾患の有無を調べる方法。
- ・ 心の中で思った通りの動かし方ができる場合は自律神経が整っている。
- ・ 風邪を引いたり病気の回復期など、自己恒常性が働いている場合は自律神経が乱れるため、ダウジングは正しくできないので行わない。
- ・ 自律神経が整っていて初めて正しい情報が筋肉を通して伝わるため、自律神経が健康でないとダウジングはできない。
- ・ シュブリュールの振り子ができる状態でダウジングを行う。

練習の仕方

持ち方

- ・ ヨーロピアン タイプで紐の端を持つ。
- ・ チャートシート(丸と十字)の中心の所に、振り子をゆっくりとかざす。
- ・ 振り子の先端と紙の表面の感覚は約 1 センチ。

縦に動かす練習

- ・ 視線を縦の線に沿って前後に動かしながら「振り子が前後に動く」と心の中で繰り返し思う。
- ・ 「振り子が前後に動く」と繰り返し思っていると、振り子が前後に自然に揺れてくる。
- ・ 前後に動いてきたと分かったら、「さらにもっと大きく動く。さらにもっと大きく動く」と繰り返し心の中で思う。
- ・ 振り子がどんどん大きく揺れてくる。
- ・ 「振り子がだんだん止まる、振り子がだんだん止まる」と繰り返し、心の中で思う。

- ・ 振り子の揺れが小さくなり振り子が止まったら、1 回止める

横に動かす練習

- ・ 同様に、横に視線を動かしながら「振り子が左右に動く」と繰り返し思う。
- ・ 左右に動いてきたと分かったら、一旦止める。

右回り、左回りに動かす練習

- ・ 「振り子が右回りに動く」と繰り返し思う。
- ・ 右回りに動いてきたと分かったら、一旦止める。
- ・ 同様に左回りも行う。

☆ シュブリュールの振り子が普通に動いた人は、ダウジングペンデュラム の練習に入っていきます!

4. ダウジングの練習とコードの求め方

～ヨーロッパタイプによる YES コードと NO コードの求め方～

- ・ 丸と十字のチャートの真ん中に、10 円玉をおく。
- ・ 10 円玉の上に振り子をかざす。
- ・ 10 円玉を見ながら、心の中で「これは 10 円ですか?」と聞く。
- ・ 振り子がある一定の動きを始めたら止める。
→YES の動き → YES コード

- ・ 10 円玉の上に振り子をかざす。
- ・ 10 円玉を見ながら、「これは 1,000 円札ですか?」と聞く。
- ・ 振り子がある一定の動きを始めたら止める。
→NO の動き→ NO コード

☆ 右回りが YES、左回りが NO の方が約 8 割と言われますが、縦に動く、横に動く、右に回る、左に回る、斜めに動く、など動きは人それぞれ。質問を変えたりしながら YES と NO の動きをしっかりと確認し、自分の YES コード、NO コードを求めましょう! それさえ分かれば、基本的に「ダウジングできるようになった」ということになります。

～3 つ目の答え MAY BE(メイビー)コードの求め方～

- ・ YES コード、NO コードではない動きを、メイビーコードと呼ぶ。
- ・ 「たぶん」「だいたい」「かもしれない」という答えになる。
- ・ 4 つ目の答えとして「質問の方向性を変えなさい」というアドバイスがそこにはある。

☆YES コード、 NO コード以外の動きが今後出てきたら、これが自分にとっての
メイビーコードだと解釈しましょう!

～アメリカンタイプによる YES コードと NO コードの求め方～

- 振り子は「ニュートラル・ムーブメント」と呼ぶ。
- YES でも NO でもない動きに振り子を振る、始動運動をする(前後が多い)。
- 質問をする→振って始動運動を与える→YES、NO の動きを見る流れ。
- ヨーロピアンタイプに比べ、答えが出てくるのがとても早い。

☆ 自分は ヨーロピアンタイプ、アメリカンタイプ、どちらが向いているかを、実際にやりながら使い分けてみましょう!

Lesson3 青い太陽

～ダウジングに向く脳の状態の作り方～

1. 青い太陽とは

- 佐々木浩一氏(故人)が考案したフレーム、青い円、黒い点から成るカードを用い、色残像を見ることで脳をダウジングにいい状態に持っていく方法論。

2. 青い太陽を使い脳の状態を整える

- カード全体に光が当たるように明かりに気をつけカードを持つ。
- カードを顔から約 15 センチのところ付近に近づけ、青い円の中の黒い点を、まばたきをせずに凝視する。
- 黒い点をずっと見つめていると、青の丸の周りに太陽のコロナのようなオレンジ色の光の輪が見え始める。
- オレンジ色の光の輪が見えたら、カードを目からゆっくり遠ざける。
- オレンジの光の輪が大きく広がり、手をいっぱい伸ばしてもカードから、はみ出すほどのオレンジの光が広がる。
- 初めて行う場合、手を伸ばすとオレンジの光は薄くなりすぐ消えてしまう。
- 消えたらまたカードを目に近づけて、黒い点が見えたらゆっくり遠ざける動作を 6～7 回繰り返す。
- 手をいっぱい伸ばした状態でオレンジの光が最低でも 30 秒以上残る状態となるまで練習する。
- オレンジの光が見えているときは、左右の脳のバランスが整い、ダウジングを行うのに良い状態となっている。

3. 青い太陽の原理

- まばたきをしないと眼精疲労を起こし、見つめている色の周りに反対の色=補色が見えてくる。色残像という生理学的現象が起きている状態。
- カードをゆっくり目から遠ざけると青い丸が小さくなるためオレンジの光を大きく感じる。
- 色残像を使った脳や心のトレーニング方法は古くから宗教の中のテクニックとしても取り入れられた方法(チベット密教や 西洋魔術など)。
- 青い太陽だけでなく、グレーをバックに丸や四角など図形を描き彩色したものを、自分で作り、練習するのも良い。白いバックは適さない。

- ☆ 心の集中がなかなか得られない、ダウジングをいくらやってもなかなか当たらない、というときには、青い太陽を 6～7 回行い、心の状態、脳の状態を整えてから行うと良いでしょう!

Lesson4 質問の組立て/先入観の対応/波動の消去法

～的中率を高めるために必要な方法～

1. 正確に質問する

～初心者が間違いがちな質問の仕方～

例 1: トランプの番号を伏せた状態で番号の赤 or 黒を当てたい場合の聞き方

- 間違っただ質問の仕方

「このトランプは赤ですか?」あるいは「このトランプは黒ですか?」

- 間違っただ理由

知りたいのは、トランプの表(番号側)の色。この問いでは「トランプの色」を聞いてしまっている。

- 正しい質問の仕方

「トランプの表の色は赤ですか? 黒ですか?」

例 2: 明日の天気を知りたい場合

- 間違っただ質問の仕方

「明日雨が降りますか?」

間違っただ理由→ 必ず地球上のどこかで雨は降っているため、知りたい場所の降雨の有無を知るための質問になっていない。

- 正しい質問の仕方

「明日の朝 10 時に新宿区内で 10 ミリ以上の雨が降りますか?」

☆ 質問はしっかりと明確に!

ダウジングに適する質問は、ピンポイントで YES か NO かで答えられるものが適しています。「私の恋愛運を見てください」「仕事運を見てください」というあいまいな質問は適しません。

2. 影響を受けやすい質問(先入観や願望がある質問)への対応

例 1: 「赤か? 黒か?」

1/2 の確率で選ぶとき、これは「黒かも」と先入観を持ってしまう場合。

例 2: 「好きなあの人と付き合うことができるか? できないか?」

付き合いたいという願望がある場合。

- ☆ 願望や先入観を受けやすい質問は、答えがその影響を受けやすいことをよく理解し、心をフラットにしてその質問をすることが重要!
- ☆ 心をフラットにするためには、瞑想やフォーカシング、ダイナミック瞑想、シルバ・マインド・メソッドなど、自分に合った方法を見つけましょう!
- ・ フォーカシング
まだ言葉にならないような、からだで感じられる微かな感覚に注意を向け、そこから言葉を出していく作業。(日本フォーカシング協会 HP より抜粋)
- ・ ダイナミック瞑想
水泳、ダンスなど自分の好きなことに没頭することにより瞑想状態となること。
- ・ シルバ・マインド・メソッド
ホセ・シルバによって開発された、脳機能を改善することで個人の IQ や幸福感を高める効果があるとされる自助グループプログラム。(ウィキペディアより抜粋)

3. 自分が先入観の影響を受けやすいタイプかをチェックする

～確認方法とタイプ～

- ・ 丸と十字のチャートを使い、振り子を真ん中にかざし、視線を前後に動かしながら、心の中で「振り子が左右に動く、振り子が左右に動く」ということをやってみる。
 - ・ 振り子が前後に動いた人 → 先入観の影響を受けにくいタイプ。
 - ・ 理由→視線という目玉の動きに振り子が動いたため。
 - ・ 振り子が左右に動いた人 → 先入観の影響を受けやすいタイプ。
 - ・ 理由→左右に揺れるという心の動きに振り子が動いたため。
- ☆ 先入観の影響を受けやすい人は、瞑想やイメージトレーニングなど、心を整える練習をダウジングの前に行うとよいでしょう!

4. 先入観や願望の影響を受けにくくするためのテクニック

～YES, NO のカードを使う～

- ・ 裏が透けない名刺サイズのカードを 2 枚用意する。
 - ・ 一枚には YES, もう一枚には NO と書き、混ぜて YES, NO が解らないように並べて机の上に置き、質問をする。
- ☆ 「誰々と付き合える?」のように願望や先入観が影響しがちの質問に有効です。フラットな状態で YES, NO の反応を得ることができます。

5. ソートフォームについて

～間違いを引き起こすもう一つの要素と波動の除去～

ソートフォームとは？

20世紀最大のダウザーと言われたアメリカのバーン・カメロンという人が実験を繰り返した結果、「思い=thought はモノ=form である」という結論に達し、ソートフォームという概念と英語の造語が作られた。

トランプを用いた説明

ダウジングでトランプのカードで赤か黒かを当てたい場合、裏向きのカードを1枚取り出し、「これは赤ですか？」と聞いた、思った、その瞬間の「思考」がエネルギーを持ったもの=「形」としてこのトランプに残る、という考え方。

その「思考」が残ってるトランプを、また混ぜて「これは赤ですか？」と聞くと、「これは赤ですか？」と聞いた過去の思い、過去の思考のエネルギーに振り子が反応してしまう現象をソートフォームと呼び、ダウジングの間違いを起こす一つの要素と言われている。

ソートフォームの消し方

- 多くのダウザーたちの試行錯誤の結果、「ビニール袋に入れた粉末の硫黄を緑色の木綿の袋に入れたもの」に、ソートフォームを取り除く作用があることが発見された。

※ 詳しくはプロ講座で説明

- カード、振り子、服、机、ペンなど、ソートが残り、ダウジングする際にノイズが発生する原因になるため、ダウジングする毎にこの袋でソートフォームを消す。
- 「波動の消しゴム」「波動除去パッド」と呼ばれている。
- ソートフォームを取り除いて、間違いの原因をより減らそうとしたダウザーの知恵でもある。

☆ 硫黄をビニール袋に入れて、緑色の袋に入れてしまえば、ひどく汚れない限りは半永久的に使えます。特殊なものではないので、材料を手に入れ自分で作るのも良いでしょう!

Lesson5 チャートを使った求め方

ビタミンチャート/ ミネラルチャート/ プロテインチャート/
職業インジケータ/特性チャート/YES・NO・MAYBE チャート

複数の選択肢から答えを得る方法

～チャート～

- 多くの選択肢の中から 1 回または 2 回の質問で一つを選ぶ際に使用するものをチャートと呼ぶ。
- 一番簡単なものは半円に選択肢を収めたもので半円チャートと呼ぶ。

1. ビタミンチャート・ミネラルチャート

～準備 チャートの真ん中辺りに振り子をかざす～

ヨーロッパタイプの場合

- 振り子を持ち、「私に今最も必要なビタミンはどれですか?」と問う。
- 振り子が揺れてきたら揺れてきた線上を見て、振り子が指したビタミンが今必要なビタミンということになる。

アメリカンタイプの場合

- 始動運動から始める。
- 振り子のチューニングポイントを持ち、項目が入っていない左右に振りながら「私に
- いま最も必要なビタミンはどれですか?」と質問する。
- 左右に振っていると、だんだん揺れている軸が変わってくる。
- 同じ線上の往復運動となり、それが指すものが今必要なビタミンとなる。

☆ミネラルも同様に行う

2. YES・NO チャート

～振り子の回転や縦の動きが苦手な場合、チャートを使用する～

男性が行う場合の練習例

ヨーロッパタイプ

- 半円の真ん中に振り子をかざす。「私は男ですか?」と質問する。
- 振り子が YES の方に揺れる。
- 次に「私は女ですか?」と質問する。
- 振り子が NO の方に揺れる。

アメリカンタイプ(男性が行う場合の例)

- チューニングポイントを持ち、横線か 縦線に振り子を振り始動運動を与える。
- 「私は男ですか?」と聞く。
- YES の方に揺れる

3. プロテインチャート

～必要なプロテイン(タンパク質)を求めるチャート～

- ・チャートの特徴 :ここに掲げたもの以外の「それ以外のプロテイン」という項目があるため、この中に入らない他のものが必要な場合、それが分かる。
- ・「私に今最も必要なプロテインはどれですか?」「次に必要なプロテインはどれですか?」など回答を得ながら3番目、4番目と同じように聞くことができる。

4. 職業インジケータ

～適正に合った職業を選ぶチャート～

- ・チャートの特徴 :線が入っていない。
- ・オリジナルが古いものなので職業種が現代にそぐわないものも入っている。
- ・「このチャートの中に〇〇に向けた職業がありますか?」と聞き YES、NO を求めることから始める。
- ・NO が出たらこの職業の中に適職はないと判断する。
- ・YES と出たら、「〇〇に最も合う職業はどれですか?」と聞く。
- ・自分ではなく他の人を調べる場合、その人の写真や名刺に左手を置き行う。
- ・複数の選択肢に絞り込んだ場合、それぞれの職業について YES、NO を求める。
- ・例えば「自営業」と「カウンセラー」両方に YES が出た場合、「カウンセラーを自営業でやると良い」というアドバイスを導き出せる。

5. 特性チャート

～人間の性質、感情、性格、を示したチャート～

- ・対象となる人が、どのような性格、どのような気持ちでいるかを知るために使う。

例 :「仕事の打ち合わせ」質問「商談相手は今日どのような感情、性格でしょうか?」

結果→「批判的」と示された場合。

判断→ 今日この人と商談をすると批判を多く受けやすい。

対処→ しっかり準備をし心構えを整える。

6. YES・NO・MAY BE チャート

～YES・NO で答えられない問題があるときに使用する～

- ・MAY BE には YES でも NO でもない、たぶん、だいたい、そうかもしれないという意味がある。
- ・チャートは YES、NO、MAY BE でどちらの意味合いに近いかの 1/4 に分割されている。
- ・「このペットボトルの水が私の体に合うかどうか知りたい」、「このビタミン剤が私の体に合うかどうか知りたい」など、単純に YES、NO だけでは答えられない可能性があり詳しく知りたいときに使う。

例 1：「ペットボトルの水」 質問「この水が私の体に合いますか？」

- YES 方向に近い場合
判断→完全には合わないけど合う方に近い状態にある
- 中間の場合
判断→可もなく不可もないという判断ができる
- NO 方向に近い場合
判断→完全に合わないけれど取りたければ害はない程度に合う

例 2：「名刺」 質問「この人は仕事上で取り引きして信用できるか」

- YES 方向に近い場合
判断→持続して変わらなければ、信用してよい
- 中間の場合
判断→信用できるが、確認しながら商談を進めた方がいい
- NO 方向に近い場合
判断→ちょっと疑った方がいい。慎重に商談を進めるべき

例 3：「本」 質問「この本を読むと私に有益な情報が得られますか？」

- YES 方向に近い場合
判断→多少の満足感は得られる
- 中間の場合
判断→信用できるが、確認しながら商談を進めた方がいい
- NO 方向に近い場合
判断→有益な情報はあまり得られない

「この人と仕事をしてもいいですか？」→あいまい過ぎて×

「この人と仕事を進めてお互い満足が得られますか？」→具体的なので○

7. チャートではなく、選択肢のある媒体から答えを求める場合

- ダウジングの世界では、左手からエネルギーが入ってきて体の中に入り、分析ができると考えられている。

例：「チラシ」 質問「ここに載っている 2 種類の講座のうち自分に合うのはどちら？」

- そのチラシの上に左手を載せる、指差す、などをして、右手で振り子を使い答えを求める。

☆ 質問は、あいまいさのないように具体的に設定し、チャートなども利用して、楽しみながら、ダウジングの技術を磨いていきましょう

さいごに

ダウジング ペンデュラム初級講座はいかがでしたか？

ここではペンデュラムを使ったダウジングの基礎を学びました。

これからダウジングを行うにあたり、ぜひノートを1冊買って、ダウジング日記をつけていただけたらと思います。つける項目は以下のようなものです。

項 目

- 年月日と時間
- 天気、気温、湿度
- その日の気分
- 使用した道具（何種類か振り子を持っている場合）
- ダウジングの方法 アメリカンタイプ or ヨーロピアンタイプ
- 質問の内容
- 振り子の反応
- 結果（当たり、外れ）
など

記録を付けていくと、例えば「天気が悪いときに外れていることが多い=天気の影響を受けやすい」「太陽の活動が活発なときに当たらないことが多い=宇宙の影響を受けやすい」「午前中は良く当たるけども午後は外れることが多い=時間の影響を受けやすい」など傾向が見えてきます。

ぜひダウジング日記をつけてみてください。そこから得られるものが、さらにダウジングの精度をあげ、楽しさや興味を深めていってくれると信じています！

※さらに深く学びたい方は「プロダウザー養成講座」の受講にお進みください。